

日本聖公会 神戸教区報

# 神のおとずれ

2013年 6月号

発行所  
神戸教区事務所  
TEL 078(351)5469  
FAX 078(382)1095  
http://www.nskk.org/kobe/

発行責任者  
司祭 芳我 秀一

印刷所  
文明堂印刷所

## 「祝福される神」

司祭 パウロ 上原 信幸



では神田の教会を御神酒所として、地域に開放したというお話しも伺い、足を運びました。

### 神田明神

神社は江戸総鎮守で、祭神は山陰でもなじみ深い、「だいきくさん」「えびすさん」と、そして平将門です。

五月十一日に、神田明神を訪ねました。管区の総会が神田キリスト教会で開かれたのですが、少し早く着いたので、すぐ先にある神社をのぞいてみました。私にとっては、なによりも、子どもの頃テレビで観た「明神下の銭形平次」の地元という感覚です。境内には平次親分の顕彰碑があります。

丁度、日本三大祭りである神田祭のさなかではありましたが、雨と言うこともあり、ゆったりと眺めることができました。お祭り自体に強い関心があったわけではないのですが、かつ

菅原道真と通じるものがあるように思います。

### 祟り神

神は祟(た)たるという考え方は、古今東西、人間の意識の中に深く根差しています。古代社会において、神の怒りをいかに和らげるかということ、神意をいかにくみとるかということは、政(まつりごと)を行う者にとって重要なことでした。

世界の遺跡を見れば、神々との和解のために犠牲を捧げた跡があります。時には大切な仲間を、人身犠牲として捧げている形跡も多くあります。日本でも、特に治水事業のために、古代だけでなく近世に至るまで、多くの人柱が捧げられています。

### 地を撃つ雨の弓

この四月で、入交司祭が逝去されて二年になりますが、私が神学校を卒業した頃、入交司祭から「虹はなぜ上を向いて丸いのか判るか」という質問を受けました。「判りません」と答え

たところ、「虹はレインボウ(雨の弓)だから上を向いているんだ」と教えられました。

つまり、ノアの箱舟の洪水物語の後、神様は地上を撃たないという約束として、雨の弓を大地に向けてではなく、上に向けて射らされたのだということです。

その時私は、それはあまりにこじつけすぎではないですかと、入交司祭に申し上げた記憶があります。

しかし、調べれば調べるほど、入交司祭の説明が旧約聖書の時代に生きる人々へのメッセージとして、正しいものだったと実感するようになりました。

世界最古の叙事詩の中には、カラスや鳩の登場までノアの箱舟とそっくりな洪水伝説が登場します。

その中で、二つの物語の違いとしてもっとも際立つのが、祝福の契約のしるしとして現れる虹の存在です。

洪水、雷、地震といったものを神々の怒りとして恐れた人々に、「神はノアと息子たちを祝福して言われた。『産めよ、増えよ、地に満ちよ。』(創世記9・1)と、聖書は、祝福のメッセージを伝えます。

### 祝福のしるし

天地創造の物語では、この世は悪に満ちた世界ではなく、日ごとに神様が「良し」とされた

世界であることが繰り返して示されます。

人間の創造の物語でも、アダムとエバに対して、ノアの時と同様に「産めよ、増えよ、地に満ちよ」と祝福の言葉が綴られます。神の怒りを恐れる人々にとって、この言葉は、喜びのメッセージとしてなよりのものだったと思います。

もちろん聖書の中には、恐れと言う言葉がしばしば記されています。「たれを恐れるべきか、教えよう。地獄に投げ込む権威を持つている方を恐れなさい。」(ルカ12・4)という、そこそ恐ろしい言葉が福音書にも記されています。

しかしそれも、本当に恐れるべきことをわきまえていないから、様々なものが恐ろしく感じるのでという文脈で記されています。

そして、一羽ずつではなく十把ひとからげで売られるはずめでさえ、神様がお忘れになるようなことはない、むしろ多くの恐れからの解放と希望が示されています。

六月に入り、雨と虹の季節に入りますが、恐れにしばられるのではなく、神様の豊かな祝福と恵みを感じる季節として、成長することができればと思います。(神戸聖ミカエル教会牧師)

# 『第2回世界聖公会平和協議会 in Okinawa に参加して』

正義と平和担当 司祭 オーガスチン 小林 尚明



報告させていただきます。

参加者は、韓国、日本、フィリピン、オーストラリア、カナダ、アメリカ合衆国、イギリス、アイルランドの聖公会から約80名でした。

そして今回のテーマは、「東アジアにおける平和と和解に向けて」というものでした。

初日に主題講演をされた米国聖公会総裁主教キャサリン・ジェファーツ・ショリー師は、昨年広島を訪問され、私たちの広島復活教会の用意した昼食会にも来て下さった方で、お元気そうでした。

「沖縄における米軍基地の課題と聖公会の役割」と題して、日本の歴史、沖縄の歴史にも触れながら平和を実現していくための示唆に富んだお話でした。ただその中で、はっと気づかされたことは、「日本の学者は沖縄を日本の国内植民地と呼び」という表現でした。琉球王国は、1609年薩摩藩によって占領され、1872年には琉球藩にさせられ、1879年には、琉球という名前も消え、沖縄県になります。その事実を、国内植民地と呼んだわけです。このこ

4月16日(火)～22日(月) 沖縄で行われた協議会に、中村豊教区主教と参加してきました。正式な報告、声明(コミュニケ)は後日、管区事務所から出されることですが、私が参加して学んだこと、気づいたことを



米国聖公会総裁主教  
キャサリン・ジェファーツ・ショリー師

とが心に残っている時に、ダグラス・ラミスさんという政治学者・平和活動家のお話を聞きました。沖縄米軍基地や平和憲法9条のお話でしたが、その中で、「沖縄の基地の問題は、前は日米安保の問題でしたが、今は不平等の問題として考えることができます。日本の人口に占める沖縄の人口は1パーセント。その一人の小学生に74個のランドセル(日本にある米軍基地の74パーセントが沖縄にある)を負わせて、残りの99人で26個のランドセルを持っている。不平等でしょう」というお話。また「日本の植民地政策において、沖縄は成功例、韓国は失敗例」という見方にも驚かされました。

そういう気持ちは私には、まったくありませんでしたが、政治学的に見れば、そういう事なのでしょう。ここに沖縄の問題があるのかもしれない。

ラミスさんのお話の後で、昼食になり、お弁当をロビーで食べましたが、丁度私の椅子の隣で、ラミスさんが一人で食べておられましたので、私の紹介をして、私たちは、何をすべきでしょうか、と尋ねてみました。すると、「少し前、神戸空港に行きました。飛行機は一機しかないのに沢山の人が働いていました。たぶん赤字空港でしょう。普天間を神戸に持っていったらどうですか。周りに土地もまだあったようですが」と提案され、何も答えることができませんでした。皆さんならラミスさんの提案にどう答えるのでしょうか。

今回の協議会の公式声明の「行動への呼びかけ」の中に、「周縁化され、植民地的状況のなかで小さくされている人々、ことに沖縄の人々、東日本震災と原発事故による被災者、フィリピンやその他の国々の先住民のために祈り、共に歩み続けること」という呼びかけが入ると思います。沖縄に行く度に、課題を与えられる思いです。

(広島復活教会牧師・  
浜田キリスト教会管理牧師)

## 日本聖公会神戸教区 第50回中高生大会のご案内

日時：8月12日(月)～15日(木)

場所：岡山県青少年教育センター 岡山県備前市閑谷784番地

ター関谷学校

テーマ：継承

～信仰・祈り・伝統の継承～

講師：晴佐久昌英神父

(カトリック多摩教会司祭)

【記念聖餐式】

司式者：中村 豊 教区主教

説教者：西川正文 司祭

参加費：9000円(保険料含む)

## 第50回中高生大会 記念行事のご案内

記念すべき第50回の大会開催にあたり、中高生大会にジョイントした、どなたでも参加できる、一泊二日の記念行事です。

部分参加、またお子様連れの参加も可能です。どうぞふるってご参加ください。

日時：8月12日(月)～13日(火)

主催：神戸教区宣教部

\*場所・講師とも中高生大会に同じです。

参加費：4000円(保険料含む)

申込締切：6月25日(火)

※中高生大会及び記念行事の案内・申込書は各教会に配布されています。申込・お問い合わせは、長田吉史司祭まで。

〒7330843 広島市西区井口

鈴が台3丁目2-5 C301

電話 082-278-6331

# キャンプサーバー・トレーニング ・キャンプ報告 青年の奉仕

クレメント 井熊 大輔

キャンプサーバー・トレーニング・キャンプが、5月3日・4日にかけて、広島復活教会で行われました。先生方のご支援を頂き、各教会から集った青年達の間で、楽しく親睦と研修が深められたことに大変感謝しております。

今年の中高生大会は、50回目という節目の年となり、盛大に行われる計画が、着々と進められています。一般の参加者も募集しているので、初めての方も、多数参加して頂きたいと思えます。

さて、今年の8月に50周年記念中高生大会が行われることは、皆様もご存じだと思います。その中高生大会に、キャンプサーバーとして奉仕する大学生以上の年代の青年が、中高生大会で、どのような役割を担うのか。1日目は、その役割や、テーマである「継承」、参加者への呼びかけについて話しあいました。

今年の中高生大会は、50回目という節目の年となり、盛大に行われる計画が、着々と進められています。一般の参加者も募集しているので、初めての方も、多数参加して頂きたいと思えます。そして、キャンプサーバーとして、大会のサポートを、僕達青年が奉仕していきたいです。

2日目は、教区内の青年が運営する「青年交流会」の組織作りを行いました。役員決めや、主な活動計画、また、教会になぜ来るのか、教会とは自分にとってどのような存在であるのかなど、参加者全員が、教会に対する意識を再確認しました。そして、なかなか教会に来れない青年や、教区の行事に参加することが難しい青年に対して、どのように呼びかけをしていくのか、課題として挙げられ、話

しあいました。初めての人の受け入れる姿勢など、自分達に出来ることを目標とし、実践していくことを確認しました。ぜひ、多くの青年に、青年交流会に参加して頂きたいと思えます。

今年の中高生大会は、50回目という節目の年となり、盛大に行われる計画が、着々と進められています。一般の参加者も募集しているので、初めての方も、多数参加して頂きたいと思えます。そして、キャンプサーバーとして、大会のサポートを、僕達青年が奉仕していきたいです。



今年の中高生大会は、50回目という節目の年となり、盛大に行われる計画が、着々と進められています。一般の参加者も募集しているので、初めての方も、多数参加して頂きたいと思えます。そして、キャンプサーバーとして、大会のサポートを、僕達青年が奉仕していきたいです。

## 第2回 U26 全国大会に参加して

マリア 河村 有里紗

2月15日〜17日、東京・渋谷で行われた、第2回U26全国集會に、2日目から参加してきました。

活動のために、何が出来るか、すべきかと言う事を考え、その事について話し合う時間もありました。

1日目は、「私と教会」というテーマで、「教会に行く理由、行かない理由」、「信仰心を持って教会へ行っているか」などのテーマに沿って、チームで意見交換、話し合いが行われていました。

神戸教区は東北教区（＋アメリカ）とペアになり、お互いの教区で何をしていくかを話し合いました。

2日目は、前日の「私と教会」について、各チームの発表を行い、全員で出た意見をシェアする事から始まりました。

そこで、神戸教区の中高生大会へ東北の青年を招待する事、冬は東北で雪下ろし（＋雪遊び）交流会を行う事などのアイデアが出ました。どちらも大きな震災を経験した教区同士であり、お互いの教

次に、アクションプラン作成として、二つの教区でペアになり、グループを4つ作り、一年以内に実現可能なアクションプランを作成する話し合いを行いました。

その中で、冒頭に、We(I) MUST CAN/WANT DO

私は、私たち(U26)は、教会のため、



区の青年が交流を持つ事で刺激を与え合い、支え合おうという話も出ました。

7月の教区関係教役者  
逝去記念聖餐式

日時 2013年7月4日(木) 午前10:30  
場所 神戸聖ミカエル大聖堂  
司式 司祭 中村 豊  
説教 司祭 長田 吉史

\*7月の記念逝去教役者\*

1日	司祭	ロバート	コールマン
3日	伝道師		小川 淳一
5日	司祭	レジナルド	セイバリー
6日		フレデリック	ウォーカー
11日	伝道師	マリア	横田 キヨ
12日	修女	ユニケ	岡上 千代
14日	司祭	パウロ	中村 弘
15日	宣教師	オクタビア	ジュリアス
15日	司祭	ウイリアム	リチャーズ
20日	司祭		広瀬 健介
21日	宣教師	ドロシー	ケース
27日	宣教師	ルイーズ	ガルゲー

4月11日(木)  
ペテロ 森田 寛(90歳)  
呉信愛教会

4月28日(日)  
セバスチャン 小林 農  
横浜教区清里アンデレ教会から  
福山諸聖徒教会へ

ご逝去

4月27日(土)  
ロイス 中村 由香里  
フランツトロンクワンクレッサン  
神戸聖ミカエル教会

4月10日(水)  
ミカエル 坂田 尊司  
神戸聖ミカエル教会より  
大阪教区芦屋聖マルコ教会へ

教籍異動

2月18日(月)  
エゼキエル 近藤 剛  
長澤 ひとみ  
神戸聖ミカエル教会

4月30日(火)  
北本波須菊(76歳)  
広島復活教会

祝聖婚

4月28日(日)  
ヨハネ 井上 裕一朗  
イサク 立川 怜  
徳島インマヌエル教会

4月17日(水)  
サムエル 榎 治(58歳)  
広島復活教会

祝洗礼

鳩だより 《敬称略》

4月15日(月)  
パウロ 伊藤 茂夫(79歳)  
姫路顕栄教会

広島平和礼拝2013のご案内

神戸教区 各教会のみなさま

2013年5月8日

「広島平和礼拝2013」実行委員会

主の平和!

皆さんは、黒沢明監督の「夢」という映画をご存じでしょうか。その夢の一つ「赤富士」では、大地震によって、6つある原子力発電所全てが爆発、赤く染まった富士山も噴火し、パニックに陥った群衆は、雪崩をうって海に飛び込んでいきます。赤ん坊を背負い、一人の子どもの手を引いて逃げようとしている母親は、「原発は、安全だ! 危険なのは操作のミスで、原発そのものに危険はない。絶対にミスは犯さないから問題はない、とぬかしたやつらは、ゆるせない! あいつら、みんな縛り首にしなくちゃ、死んでも死に切れないよ!」と叫びます。側にいた背広の男性が、「大丈夫! それは、放射能がちゃんとやってくれますよ。すみません。僕もその縛り首の仲間一人でした」と告白します。1990年に製作された「夢」は、まるで21年後に発生した、福島第一原発のメルトダウンを予言しているようです。

広島に原子爆弾が投下され、68年目を迎える8月、今年も広島平和礼拝を実施いたします。今年の平和礼拝は、神戸聖ミカエル教会信徒 平峯元隆さんの被爆証言と共に、福島原発事故により避難を余儀なくされている人たちのために活動を行っております、小名浜聖テモテ・ボランティアセンター責任者の木村幸夫司祭にお話を伺います。放射能汚染で避難を余儀なくされている福島の人たちを覚えつつ、核兵器・大量破壊兵器の恐ろしさと、争いの愚かさを今の世界に伝える広島の地で、「キリストの平和」を共に学び、祈りの時を持ちたいと願い、皆様にご案内申し上げます。

広島平和礼拝の目的

1. 原爆犠牲者を追悼し、世界平和のために祈る。
2. 時代を担う人たちに原爆の悲惨さ、戦争の愚かさを伝える。
3. 「主の平和」を学び、その実現のために活動する。

■行事名 広島平和礼拝2013

■テーマ ともに学び、行動し、祈ろう。そして一歩前へ。

■聖句 平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。(マタイ福音書5:9)

■開催日 2013年8月5日(月)・6日(火)

■申込締切 2013年7月9日(火) 必着

各教会配布の所定の申込用紙にご記入の上、ファックスにて上記期日までに広島復活教会でお願いします

■被爆証言とボランティア報告について

- ①平峯元隆さん「私の8月6日」(神戸聖ミカエル教会信徒)
- ②木村幸夫司祭「原発被災者と共に」(大阪教区退職司祭)

■プログラム ※時間はすべて予定です。

5日(月)

- 9:30 碑巡り
  - ①入門編(平和公園~原爆資料館)
  - ②カトリック世界平和記念聖堂編
  - ③大本堂跡編
- 12:00 昼食
- 13:00 被爆証言とボランティア報告
- 14:30 ブレーク・分かち合い
- 16:15 軽食・移動 <以上、広島復活教会>
- 17:15 祈りのつどい <平和公園>
- 17:50 平和行進 <平和公園~世界平和記念聖堂>
- (18:00) 祈りのつどい 世界平和記念聖堂・地下聖堂
- 19:00 平和祈願ミサ <世界平和記念聖堂>

6日(火)

- 6:15 原爆死没者慰霊行事 <平和公園>
- 8:00 原爆犠牲者追悼聖餐式 <復活教会>
- 司式: アンデル中村豊 神戸教区主教
- 説教: ナタナエル植松誠 日本聖公会首座主教
- 10:00 シューモハウス見学(栄光こども園含む)

※お問い合わせ・お申込みは、広島平和礼拝実行委員会事務局まで

(日本聖公会広島復活教会 〒730-0014 広島市中区上幟町10-11) TEL: 082-227-1553 FAX: 082-227-0818  
E-Mail: kobayashi@hpps.web9.jp 「広島礼拝ホームページ」http://hpps.web9.jp/